

# 県営水道における指定管理業務のモニタリング評価結果について

企業総務課

## 1 要旨

県営水道における指定管理者制度導入施設について、毎月の報告書や実地の立ち入りによりモニタリングを実施している。この度、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の業務が終了したため、業務の実施状況について評価を行った。

## 2 評価結果

### (1) 広島西部地域水道用水供給水道（第2期3年目）

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目 H30.4.1 ~ R5.3.31
評価期間		令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取組を実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬品タンクからの漏液を早期に検知するため、異常発生時に警報が鳴るよう三ツ石浄水場の中央監視装置のプログラム改修を実施し、運用している。</li> </ul>	
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>白ヶ瀬・三ツ石両浄水場の双方向監視体制について、通信環境の整備や運転監視ができる人材の育成を実施し、運用を開始した。</li> <li>水中ロボットを活用し、白ヶ瀬浄水場浄水池の経年劣化状況の調査及び清掃作業を実施した。</li> <li>AIによる薬品注入の自動運転化に向けて、白ヶ瀬浄水場でAIと運転監視員による薬品注入率の比較検証を開始した。</li> </ul>	
その他 (課題、要望事項等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理業務を適切に履行しており、浄水場間における双方向監視体制の導入や水中ロボットの活用等、水道施設の効率的な維持管理に努めている。今後もDX技術等を積極的に導入し、更なる業務の効率化を推進すること。</li> </ul>	

#### 【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある

(2) 沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道 (第2期1年目)

対象業務	沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道		
指定管理者	株式会社水みらい広島	2期目	R2.4.1 ~ R5.3.31
評価期間	令和2年度 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)		
総評	A	<b>S：優良</b> (要求水準以上の取組を実施している項目がある) <b>A：良好</b> (各項目の要求水準をすべて満たしている) <b>B：要改善</b> (各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある)	
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。
	6 その他	○	清掃, 環境衛生管理, 地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>管路漏水事故において不断水で施工可能な紫外線硬化型FRP (繊維強化プラスチック) シート工法を採用し, 最新技術による修繕方法の導入を積極的に行っている。</li> </ul>		
提案項目への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>地中探査レーダーを活用し, 中・大口径管路付近の空洞箇所を検知することで, 漏水箇所を特定する手法の検証を進めている。</li> <li>沈殿池等の堆積汚泥の厚みを計測するポータブル汚泥界面計を導入し, 汚泥量に応じた脱水機の効率的な運用方法を検討している。</li> <li>水中ロボットを活用し, 幸崎調整池及び坊士浄水場浄水池を調査し, 経年劣化状況を確認した。</li> <li>微生物が原因となる水質悪化への対応として, 遮光ネットの設置や薬品注入方法の変更等の手法について, 関係会社と共同研究を実施している。</li> </ul>		
その他 (課題, 要望事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理業務を適切に履行しており, 地中探査レーダーによる空洞調査, ポータブル汚泥界面計による汚泥量の把握, 水中ロボットの活用等, 水道施設の効率的な維持管理に努めている。今後もDX技術等を積極的に導入し, 更なる業務の効率化を推進すること。</li> </ul>		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある